

一般質問

定例会では、議案に係らず市的一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

堀川 浩美 議員

市の所有地を活用した太陽光発電設備の整備について

堀川 福島原子力発電所の事故後、日本中で脱原発が叫ばれているが、土地開発公社の土地やその他の市有地を利用して太陽光発電を設置してはどうか。

総務部長 再生可能エネルギーの活用は、地球温暖化対策にとって極めて有効な手段であり、技術的なノウハウを蓄積した民間事業者にその整備を委ねることが最も効果的であると判断している。市有地の活用については、先行取得に係る事業化の見通しや設置に伴う必要面積、土地の形状など、幾多の検証が必要となるので、関係事業者との情報交換を行い、普及、推進への取組を進めてまいりたい。

空き店舗対策について

堀川 商店街の空き店舗を活用する事業主に対して地域活性化に取り組んでいる田辺市を視察してきたが、本市の空き店舗に対する補助金を活用した地域活性化対策についての考えを伺う。

産業環境部長

本市ではハード面だけでなくソフト面のサポートとして、奈良県の取組を参考に「魅力あるお店づくりセミナー」を9月から開講している。現在、補助金制度はないが、空き店舗の活用を視野に入れた取組を情報収集し、商工会、各商店街と連携を取りながら検討してまいりたい。

結婚相談所について

堀川 未婚者の出会いの場を作るための結婚サポーターの設置と結婚相談所事業の実施の考えについて伺う。

あんしん福祉部長

奈良県の「なら出会いセンター」事業に賛同し、市内の独身男女に登録を推進している。これらの活用を更に啓発し、動向を見ながら検討してまいりたい。

ごみの減量化対策について

堀川 生ごみ処理専用バケツを希望者に無料配布すれば、ごみの減量化になると思うがどうか。

産業環境部長

現在、堆肥化実験を行っており、その効果と費用を検証し、普及の方策を検討してまいりたい。

池上 輝雄 議員

防災対策について

避難場所の周知について

池上 市内のほとんどの学校が避難所になっているのに、最低限必要な毛布や水が置かれていない。事が起きて届けることができた方がいいが、また、避難所の鍵の保管等はどうしているのか。

総務部長

地域防災計画で120か所の避難場所を指定しているが、各地域で実施する訓練を通じて啓発し、現在、看板の設置と防災マップの作製を進めている。毛布は中央体育館あるいは大塔ふる里センター等において市で一括管理をしている。今後は、流通備蓄の対応を拡大し、避難施設の空きスペースを活用するよう検討してまいりたい。自主避難等があれば市の担当職員が早急に駆けつけ開所している。

池上

幼稚園・学校だけではなく高齢者のためにも各地区での避難訓練を考えていただきたい。

市長

市として年1回の訓練はあるが各地区での訓練も大変大事である。東南海・南海地震を踏まえ、全体的、総合的に考えて進めてまいりたい。

備蓄倉庫の周知について

池上

備蓄倉庫にはどのようなものがどの程度入っているのか。

総務部長

地域ごとに学校や公民館などの敷地や施設を活用し、20か所に分散して10、350食の非常用食料、水3千本や救急用資機材を備蓄しており、災害時には各事業者・事業所と無償提供や有償の優先的な配布の提携を結んでいる。また、消費期限等の確認は、自主防災組織の訓練の際に確認していただき、随時、市に連絡が入り期限内に補充している。

市長

備蓄品が少ないと感じられる部分もあるので、いろいろな形で精査をしている。どれだけの食料品が適当であるのか、たくさん置くこともできないし、その中で今後、全体的な流れを見て考えていきたい。

池上

避難所や備蓄倉庫の鍵の管理や誰が主導者になるのかなど、きっちりとしたことを決めておかないと、いつ災害が起きるか分からないので最後の詰めをしていただきたい。

